

金沢こころの電話

# ほっとライン

No.103

金沢こころの電話  
ご相談は... **222-7556** シルバーこころの電話  
**260-7272**

## 温かい志に感謝を

—平成29年定時総会開かれる—



年度始めの決意を述べる中村会長

に表彰状と副賞を贈呈。

今回、会員の人材育成にと

多額の寄付をされた星野俣

子氏(故・星野命顧問夫人)

に感謝状を授与した。

中村宏兵会長は「悩む人達

の心の居場所としての本会

活動を大事に、若い人達にも

この活動に関心が持てるよ

う更に努力したい」と挨拶。

来賓の石川県健康福祉部

少子化対策監室対策監大畠

秀信氏と、当会相談役山内ミ

ハル氏から「行政の行き届か

ないところに焦点をあてた

温かい志・活動に感謝した

い」「言葉使いの難しさを最

近特に感じている。研修を

重ねて安心して相談できる

相談者になってほしい」と励

ましの言葉があった。

総会は、定款に基づき中村

会長を議長に、議長指名によ

り会員の富田敬子氏を書記

に任命し進められた。

理事会で決定済みの平成

29年度重点目標、事業計画、

収支予算が報告された後、議

事に入った。

平成28年度事業報告と収

支決算報告は満場一致で承

認され総会は滞りなく終了

した。(記・古田)

### 総会に出席して



◆感謝状を授与された星野

俣子氏は、夫君の本会活動に

かけた熱意と意思を受け継

がれ、今回多額の寄付をされ

た。寄付金はお気持ちを尊

重し人材育成の経費にあて

られた。亡くなられて1年

半。あらためてご冥福を祈

りたい。

◆来賓の大畠秀信対策監は

挨拶後も席を離れず熱心に

進行を見守っておられた。

また、記念講演の講師 河合

隆平金沢大学人間社会研究

域准教授が帰りに賛助会

員に登録されたことに素直

に感銘、感謝したい。

◆養成はしているが会員の

増加がみられない。対応・対

策はと質問があった。入会

4名賛助会員へ移行2名、退

会8名と正会員動向が報告

されたが、ここ数年の傾向、

会員の増加が見られない。

病気、高齢、介護、仕事と移

行や退会理由はある。心身

とも健康でありたい。

◆29年度も数多くの事業が

計画された。絆の森保全活

動も22年より取り組まれて

いる事業。周りの木々が美

しい10月9日体育の日、森林

浴、親睦交流を兼ね

て、一人でも多く

の参加を期待した

い。(記・古田)



# 金沢こころの電話定時総会 記念講演

## 「なごみ」で障害のある人とともに生きる

### 障害者差別解消法施行2年目を迎えて



法制度もわかりやすく……

平成29年4月29日(土)、金沢市教育プラザ富樫において金沢こころの電話定時総会後、「障がいのある人への地域支援と現状(レジュメは『こころ』で障害のある人とともに生きる』障害者差別解消法施行2年目を迎えて)』と題し記念講演が行なわれた。講師は河合隆平 人間社会研究域准教授。

講演は、  
①障害のある人を取り巻く社会の変化(「障害者権利条約(以下条約と記)」について)  
②当たり前に生きるための新たな仕組み(「障害者差別解消法(以下解消法と記)」について)  
③障害のある人の「ねがい」が「誰もが生きやすい地域」をつくる

条約の批准や解消法の施行は、その背景に、これまで障害者のことを障害者抜きで決めてきた反省がある。また、これは新しい権利の創造ではなく、教育・勤労・結婚・住まいなどといった、人として当たり前の権利を履行・実現するためのものである。

障害を理由とする差別には不均等差別(直接差別・間接差別・関連差別の3つ)と合理的配慮の不提供(何もしないこと)がある。合理的配慮とは障害が無い人との「格差」をなくす措置である。企業等がすべき合理的配慮への過度の負担や障害者の自立に関する家族の負担など、考慮すべき問題は存在する。しかし、本人を地域や社会に合わせるのではなく「本人に合った地域や社会」にしていくな事が必要である。やまゆり園で起こった事件を挙げて講師は、私達は障害の重い人達に出会った時に衝撃を受け、可哀想だとか生きていて何の意味があるのかと思うことがあるかもしれない。けれどそこで立ち止まらず、どうしたら「快適に生きられるか」や「生きることが喜びである」という状態を作れるか」を考えることが大切である。「本人はどう思っているか」を知ろうとする気持ちを持って人と関

**人の回復には締め切りはありません**  
～家族・当事者の経験を持つ精神科医から伝えたいこと～

夏苺 郁子氏  
夏苺氏が子どものころ、母親が統合失調症を発症し、その後、両親は離婚。両親への

「公開講演会2017」の第1回講演会が、5月21日(日)石川県社会福祉会館に於いて児童精神科医・夏苺郁子氏を講師に開催された。一般市民を含め約150名の参加者があった。



亡き母の手作りのワンピースを着て

葛藤を持ちつつ成長し、自身も精神的に辛い青春時代を過ごした。精神科医となり、2012年には「心病む母が遺してくれたもの―精神科医の回復への道のり」を出版した。この出版を機に自身の体験、その体験をふまえた精神医療の在り方について全国で講演をしている。

(次ページへ続く)

# 第41期生認定式

▽日時：平成29年3月20日(月・祝)  
▽場所：金沢市教育プラザ富樫

認定式は、会長より開会の挨拶、認定書授与、認定者代表の「誓いのことば」、認定委員長 大友順治氏と相談役 松田昭臣氏のお祝いのことばの順に進められた。

式の後、41期生となられた4人の方々に紙面にてインタビューをした。



認定書授与式

● 今まで知らなかった世界に興味をもった  
● これまでの自分の仕事を活かせるボランティアをしたかった  
● チラシの講義プログラムに興味があった。人の心のケアに関心があった  
● ボランティアとして少しでも人の役に立ちたかった

● 受講中、嬉しかったこと、楽しかったこと、辛かったこと、苦労したこと……  
● 受講者同士仲良くなり、和やかに受講できた。仲間意識がもてた  
● 自分の狭い考え方を自覚することができ嬉しかった  
● 傾聴の難しさを痛感した

認定式を終えて(認定を受けて)思うことは？

- 認定を受けて嬉しい
- 相談者に満足してもらえ、対応を目指したい
- 謙虚な姿勢で臨みたい
- 向学心をもって頑張る

また、「誓いのことば」の中には、今、社会を取り巻く環境がどんどん変化し、いじめ問題はもとより高齢者・労働・借金問題、自殺、精神障がいによる悩みなど問題が多様化しているこの時代だからこそ、何か少しでも他人に聞いてほしいと思つて電話をかけてくれる方達の「心の声」を聴けたらと思う。講座を終え学んだことは「専門的アドバイス」や「解決方法を伝える」こととでなく、クライアントがどれだけの心の声と思いを吐き出せたかということ。これからの一期一会を大切に、決意新たに頑張りたいとあった。新会員の熱い気持ち

【母の病名は統合失調症】  
きれいで手先の器用な自慢の母親は、統合失調症を発症し、夏苺氏にとっては恐れの対象者に変わった。病名を知ったのは、医学生時代、統合失調症の講義を聞いた時だ。25年間母親の病名は伏せられてきた。

【普通の人からの支援】  
2年間普通の家庭を体験させてくれたおばさん。「母親に会いに行こう」と行動を共にしてくれたHさん、36歳で亡くなった在日韓国人のSさん、八方ふさがりで生きる目的を見失い思いつめていた私に生への明かりをつないでくれた人達だ。

【回復は和解へのプロセス】  
生か死か 二つに一つ 隙間風  
母のこの句は凄まじいほど真剣に生きた孤高の母の姿だ。尊敬する。私が着ているこのスーツは母が着物をほどいて手作りしたもので、母親の話をするときには着る。作業所で月1万円の給料をためて家族旅行を夢見ている統合失調症のA君は2年間月2回、無料の電話相談を利用していた。目に見えない効果のない仕事かもしれないが、社会の中で孤立している人は、一緒に雨に濡れても良い人、支援者が必要なのだ。

私は万葉集の「やきつべ」(焼津)という古名を取り、19床の診療所を夫と開き、当事者として、その家族として、精神科医として偏見のない精神医療を担っていききたい。

(記・柿崎)

し、初心に立ち返らされ、力が与えられたのだと思う。

(記・高田)

## 平成28年度 賛助会費・寄付金 感謝報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

金沢こころの電話の運営のために温かい資金援助をいただきました。心から感謝しご報告いたします。  
これからもご協力下さいますようお願い申し上げます。(敬称は略させていただきます)

### 【賛助会費】

#### ○個人

石川誠子、石黒 勝、石田 修、泉 信次、伊藤美津子、今井宏和、植木誠子、上田佳壽子、浦田早知・肇  
角谷澄栄、圓田 綾、遠藤陽子、大窪通孝、大塚吉江、大浜美映子、小川弘子、奥田栄美子、小野ツルコ  
沖野美智子、柿崎亜紗奈、柿崎謙一、梶富次郎、金江正衣、川浦幸光、川坂君枝、北村武子、小林 匡、紺谷博子  
齊藤千代、齊藤八重、坂尻他津子、酒田長昭、坂谷理恵子、櫻井直子、佐宗 功、佐藤順子、真田京子、柴野南津  
島田 紀子、清水文子、下田葉子、関 雅美・丕、関 玲子、高木要子、高倉万美、高澤タマエ、高地松美  
田頭 孝三、高田智雄、高西明子、高橋多重、高山静子、竹勢津子、武田陽子、田島晴美、田中千鶴、土家佳奈子  
寺井亮三、問谷元子、徳沢愛子、得永嘉昭、富木育子、富田 寛、直江茂行、中島章雄、中野喜代子、中村 哲  
中村純子、中村孚子、中村洋子、中村了吉、中本利光、西 宏、新田由美子、能登準一、狭間千代子、橋中聡子  
橋本忠明、浜田典子、東 文仁、東野昭子、広瀬照代、福岡晴美、福島 純、藤谷明子、古屋知栄子、前 郁美  
松木浩一、松見博史、松本征子、松本れい子、宮崎洋子、宮田正道、宮前美智子、宮村 泉、宮元紀和、宮本道子  
宮森恵子、村本高志、室山昭子、元田武夫、元田保栄、守部厚子、八木孝男、八木雅夫、山口正雄、山崎博久  
山野俊一、山野之義、吉川玲子、米田千映子、山村英子、木越トヨ子、虎谷順子、水田信一、水田美代子、平野裕紀子

#### ○法人・団体

(医)荒木耳鼻咽喉科クリニック、石川県織物構造改善工業組合、石川県織物工業協同組合、(社)石川県看護協会  
石川県商工会連合会、(公財)石川県成人病予防センター、(一社)石川県鉄工機電協会、(一社)石川県経営者協会  
加賀建設株式会社、加賀こころの病院、仁智会 金沢春日ケアセンター、金沢原糸織物商業協同組合  
金沢商工会議所、金沢西病院、(株)久世ベローズ工業所、(株)大日製作所、(株)東山商会、カット&エスティ髪綺里  
願念寺、(有)希夢良、国際ソロプチミスト金沢-くろゆり、(株)小林太一印刷所、紺谷内科婦人科クリニック  
J A石川県連、昭栄産業株式会社、商工組合中央金庫金沢支店、白銀教会、白銀幼稚園、(株)シーピーユー  
鈴木.レディスホスピタル、セントラルメディカル(株)、第一電機工業株式会社、東福カウンセリングセンター  
(株)金沢適応カウンセリング&研究センター 長尾紀久子、(株)中島商店、中谷商事(株)  
(財)日本電信電話ユーザ協会石川支部、梅光保育園、(株)橋本清文堂、馬場幼稚園  
(株)福光屋、二葉鍼灸療院 田中良和、北栄パイピング(株)、ホクショー(株)  
北陸学院高等学校、北陸電力(株)石川支店、牧野歯科医院、力丸医院、(有)ナカテック  
(有)由水十久工房、わせだクリニック、和田歯科医院、司法書士ポライトリーガルサービス



### 【寄付金】

国際ソロプチミスト金沢、野坂 仁、土田陽子  
下里二三枝、山内ミハル

※賛助会費の振込は下記口座へお願い致します。

▶郵便振替口座 00710-4-13987  
[金沢こころの電話]

賛助会費・ご寄付等 合計 1,330,388円

### 編集後記

今回編集後記を書くにあたり、参考までに全国各地の各種ボランティア団体の広報誌をインターネットで眺めてみた。それらの広報誌には編集後記のないものが多かった。しかし、困っている方などの支えになるように真剣に活動し、また、その活動を多くの人に共感・理解してもらおうと努力している人の姿を感じ、心強い気持ちになった。

今回のほっとラインでは、定期総会の内容の報告とは別に「総会に出席して」と題し、印象に残ったことを掲載した。また41期生認定式に関する報告では、41期生となられた方々への紙面インタビューを掲載した。

今後とも、読みやすく、伝わりやすい紙面を目指し、工夫を重ね、金沢こころの電話の活動に携わる方々、支援いただいた方々のコミュニケーションの一助となるよう努力していきたい。(記・渡邊)

発行 公益社団法人  
金沢こころの電話  
事務局 〒920-0964  
金沢市本多町3-1-10  
電話 (076)222-7531  
FAX (076)222-5352  
http://kkd-ishikawa.jp/soudan  
e-mail kkd@beach.ocn.ne.jp  
編集 広報部会  
印刷 (株)橋本清文堂

